

今井宗久 堺の商人で茶人。織田信長に接近し、堺の取りまとめ役となって巨利を得た。

いまいそうきゅう

・ ・ ・ ・ ・ 1520 = 近江国高島郡今井で、土豪の子に生まれる。(大和の今井莊出身説も)。

・ ・ ・ ・ ・ 1529 = **9歳** :

天王寺合戦・1531 = 11歳 :

機敏な才覚を持ち、
銀輸出始・ ・ 1538 = **18歳** :
青年期に堺に出て、はじめ納屋宗次の家に寄寓していたが、
独立して納屋業を営む。

鉄砲伝来・ ・ 1543 = 23歳 :
_武野紹鴎に茶の湯を習って、
_その女婿となり、紹鴎の後援をうけたことで家業も繁昌し、

勘合船終・ ・ 1547 = **27歳** : この頃には、*宗久と号し、天王寺屋津田宗達の茶会に招かれるほど、その社会的地位も向上。

ザビエル来日 1549 = 29歳 :

大陸邦民事件 1555 = 35歳 : *紹鴎が死去すると、紹鴎秘蔵の名物茶器(松島の茶壺・紹鴎茄子)や玉潤筆波の絵などを譲りうけ、
・ ・ ・ ・ ・ 1556 = **36歳** :
_紹鴎の遺児新五郎(宗瓦)の後見人となり、茶人として頭角をあらわす一方、

桶狭間の戦い・ ・ 1560 = 40歳 :
_三好義賢(物外軒実休)・松永久秀らと交わり、
_彼らを利用して、政商としての地位を確立して行く。

將軍義輝自刃 1565 = **45歳** :

織田信長入京 1568 = 48歳 : _織田信長が足利義昭を奉じて上洛し、松永久秀が信長に降伏すると、信長に、松島の茶壺と紹鴎茄子を献上して接近をはかり、翌年にかけて、信長と堺町衆との抗争が起ると、
京都宣教許可 1569 = 49歳 : *和平論を主張して戦争の回避につとめて成功。この功で、信長から摂津の五箇所などの蔵入地の代官職に任ぜられ、関銭免除などの特権を与えられ、茶頭として信長に召し抱えられる。
_他方、我孫子に摂河泉の鍛冶職人をあつめ、折から需要の激増した鉄砲の製造をはじめ、火薬類を取り扱い、さらに巨富を集積した。

室町幕府滅亡 1573 = 53歳 :
長島一揆鎮圧 1574 = **54歳** : _信長みずからの建造させた鉄船見物のため堺に下向した際、まず宗久宅を訪れているように、堺町衆の代表格として重んぜられ、堺奉行松井友閑も一目おく有様となる。

信長から重用されたのは茶人としての技倆もさることながら、堺町衆の懐柔という政治的意図にもとづくもので、石山本願寺勢力と堺町衆との離間を策した天正初年からは、津田宗及が重用されるようになる。

本能寺の変・ ・ 1582 = 62歳 : *本能寺の変で、信長が死去した後、
賤ヶ岳の戦い・ ・ 1583 = **63歳** :
豊臣秀吉にも茶頭としてつかえたが、

バレン追放令 1587 = 67歳 : 北野大茶会における担当茶席の千利休・津田宗及に次ぐ序列が示すように、_地位が低下するなか、

秀吉全国統一 1590 = 70歳 :

文禄の役・ ・ 1592 = **72歳** :
方広寺大仏殿 1593 = 73歳 : _没した。